

令和4年度 第4回学校運営協議会議事録

(司会:深谷教頭 記録:菊田)

期日:2月16日(木) 10:00~

場所:国田義務教育学校会議室

会議参加者名簿(敬称略)

氏名	役職	氏名	役職
山中 芳博	未来塾水戸代表	和田 俊宏	国田地区自治実践会・元PTA会長
小田倉 康家	国田地区自治実践会会長	宮本 浩紀	茨城大学助教授
折笠 慶子	国田地区民生委員・児童委員	玉井 康浩	国田義務教育学校校長
後藤 裕美恵	国田地区主任児童委員	深谷 弘美	国田義務教育学校教頭
戸崎 力	国田義務教育学校元PTA副会長	菊田 千河子	国田義務教育学校教務主任

- 1 開会の言葉 (深谷教頭)
- 2 会長あいさつ (山中会長)
- 3 校長あいさつ (玉井校長)
- 4 協議 (山中会長)
 - (1) 次年度の委員について
R5年度に向けた役員改正
 - (2) 6年生修了証授与式, 7年生進級式について
○昨年度同様に, 視聴覚室で実施(保護者は, 各家庭2名参加可能)
 - (3) 部活動指導員の状況について
○現在, 卓球部に2名の部活動指導員
→水戸市で人数が決まっている中で配当されている。
現在, 移行措置の最中である。
水戸市でスポーツ教室を実施(会費がかかった。保護者負担)
 - (4) 次年度の年間行事予定について
○主な行事の確認
 - (5) 次年度の児童生徒数について
○児童生徒数 138名の予定(約4割が小規模特認)
 - (6) 学校評価について
○保護者アンケートを1学期と3学期に実施
→「十分な成果があった」「成果があった」の割合が, 全体的に増加した。
 - (7) その他
 - ① 学校関係者評価について
○ 自己評価表について
「かしこさ推進プロジェクト」
教科担任制のよさを生かした授業の推進, 「国田スタンダード」を活用した学習のしつへの定着

【意見等】

6年生の教育課程の先取りの更なる推進
デジタルドリルの活用（活用の方法の工夫）
5・6年生の50分授業と9年生の7時間授業の現状

「やさしさ推進プロジェクト」
ボランティア活動の推進とジュニアリーダーの活躍

「たくましさ推進プロジェクト」
6年生の早期部活動

- ② 各種検定について
次年度について検討
- ③ 卒業式について
水戸市として、来賓はなし
- ④ 定期テストについて
- ⑤ 国田の魅力発信について

【意見等】

大学との連携や、ボランティアの活用、サッカー場の活用など、様々な方法が考えられる。